

地域住民との連携による農空間保全

いのい 一之井水利グループ（和泉市）

- 一之井地区では、毎年地元水利組合員にて農地や水路、農道等の保全管理をすすめてきたが、近年組合員の高齢化及び後継者不足により、負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
- 平成27年度に、地元水利組合と関係自治会、土地改良区で一之井グループを設立し地域住民と連携した地域資源の保全管理を図っている。

【地区概要】

取組面積	18.33ha [田12.62ha 畑5.71ha]
農業用施設	開水路7.2km パイプライン0km 農道 0.3km ため池 0箇所
主な構成員	水利組合、自治会、土地改良区役員
交付金	492千円 (R02)

活動開始前の状況や課題

- 以前より地元農家による営農が行われていたが、高齢化により担い手の減少、後継者不足等により今後の持続的な農地・農業用施設の管理が課題。
- 周辺の宅地が進んでいる地域もあり、住民の農地や施設への理解が進んでおらず、苦情等が増加している。



取組内容

- 溝さらえや草刈り等を、自治会等と共にに行っている。
- JAが行う地元小学校(北池田小学校)の農業体験(田植え、稻刈り、収穫米を用いた収穫祭、しめ縄作り)等に参加し、交流活動による地域住民の理解促進に取り組んでいる。



取組の効果

- 溝さらえや草刈り等を、自治会等と共にに行うことにより、担い手の負担軽減及び地域住民との交流が図られ、農地や施設への理解が進む。
- 北池田小学校5年生約130名の農業体験を地域農家の指導により年間を通じて実施し、こどもの地域農業への理解促進、交流が進むとともに、遊休農地の発生防止にも寄与している。

